

第4回全国ヴィンテージ8's バレーボール交流大会



日時：2013年10月11日（金）～13日（日）

場所：北海道帯広市

会場：帯広市総合体育館

音更町サンドームおとふけ

幕別町札内スポーツセンター

幕別町立札内東中学校体育館

帯同：『see you again』 福岡県柳川

帯同者：中谷 拓也（リハビリテーション部）

【ヴィンテージ8'sとは】

高齢社会にむけた生涯スポーツの振興のための新たな試みとして、中高年者が誰でも手軽に親しめるよう、9人制バレーボールをベースに8人制バレーボールを開催。

男性の壮年者の大会としてコートから離れていた元プレイヤーのステージとして開催。また各部の5歳以下の女性3名以内と一緒にプレーすることができる。



【参加資格】

各都道府県協会及び全国各ブロックの推薦あったチーム

- (1) 男性 50 歳以上の部（平成 25 年 4 月 1 日現在で満 50 歳以上）
- (2) 男性 60 歳以上の部（平成 25 年 4 月 1 日現在で満 60 歳以上）
- (3) 女性の年齢は当該部の 5 歳以下まで
- (4) 各部とも全国各ブロックから原則 2 チーム推薦

【競技規則】

平成 25 年度公益財団法人日本バレーボール協会 9 人制競技規則をベース

- (1) コートは 18×9m を使用。ネットの高さは、50 歳以上の部：2.25m、60 歳以上の部 2.20m。
- (2) オンザコートは 8 名とし、女性の参加は 3 名まで可能。
- (3) 競技者交代の回数は各セット 8 回まで可能。
- (4) ベンチにはチーム構成（選手 15 名以内）が入れる。

【使用球】

『モルテン V5M5000 のカラーボールを使用』

【競技方法】

予選リーグ戦は 3 チームリーグ戦を原則とし、上位 2 チームが決勝トーナメントに出場。

全試合 3 セットマッチとし、3 位決定戦は行わない。

【see you again】

- ・チーム歴 5年
 - ・バレーボール歴 平均 38.1年間
(15~44年間)
 - ・平均年齢 52.8歳 (47~57歳)
 - ・平均身長 174.5cm (156~186cm)
- 福岡県柳川市で週に1日練習を行っています。

以前、実業団でプレーしていた方や
学生時代に県大会優勝された方、

大学、社会人チームで活躍されていた方など今まで実績を残された選手も多数在籍。また、アキレス腱や膝関節（半月板、前十字靭帯）の手術を受け、スポーツ復帰された方もいらっしゃいます。



【1日目】

福岡空港から新千歳空港に行き、そこからレンタカーで帯広まで移動。距離にして約150km！！さすが北海道だけに道幅も広く感じました。また17時過ぎにもなれば外は真っ暗でした！！

その日、選手の皆さんと一緒に食事させて頂いたのですが、皆さんのバレーボールに対する熱い気持ちが伝わってきました。

『今、こうしてバレーボールができるのが幸せだ！！』、『気持ちでプレーしたい！！』と当院で膝関節（半月板）の手術を受けられた方が仰っていました。また、バレーボールに対して熱い方ばかりなので、各々自分の意見を話し、ヒートアップする場面もありましたが、こういった場面を目の当たりにし、カッコいいと率直に思いました。意見がぶつかり合っても最後には『絶対優勝するぞっ！！』と共通認識を皆さん持っていました。今の目標に対して、皆さんが様々な視点から目標を見ていることに対して、私は色々と考えさせられました。



【2日目】

いよいよ予選リーグ当日。

1試合目は、神奈川県でした。1セット目は26-24と接戦をものにし、2セット目は21-13とセット数2-0で圧勝でした！！

2試合目は、長野県と対戦し、1セット目は21-16、2セット目は21-17と2セット先取し、またもや圧勝！！

3試合目は、東京都でした。1セット目は21-14、2セット目は21-19とこの試合も1セットも落とすこと無く快勝でした！！

私は、試合の合間にストレッチやテーピングを巻いたりとコンディショニングの調整をさせて頂きました。試合後には、膝関節の痛みを訴える方が多く、携帯用アイスパックでアイシングを実施しました。

夜は、痛みを訴える選手の部屋にお邪魔し、入浴後もアイシングと湿布を使ってクールダウンするよう指導させて頂きました。

1試合目に肘を打撲し、その時は症状も無かったため、2、3試合目も出場した選手が宿泊先に戻ると、肘頭（肘関節）に腫れが出現し始めました。アイシングを直ぐに行いましたが、腫れがひかなかったため、整形外科受診。幸い、骨折など認められませんでした。



【3日目】

いよいよ決勝トーナメントです！！1回戦は、神奈川県でした。
結果は、1セット目は20-22、2セット目は17-21でした。
接戦を繰り広げましたが、勝利を掴むことができず、非常に残念でした。

試合後、1人の選手が『身体も心もついてこなかった！！』や
『試合の流れが良い時はチームの雰囲気もいいのいなあ…』と
話してくれました。

選手の皆さんは、肩や肘、腰、膝など様々な部位に痛みを抱えながらバレーボールを続けていますし、パフォーマンスが発揮できるコンディションではなかった点に関して、私なりに課題も見つかりました。



【最後に】

今回の帯同は、非常に有意義な経験をさせて頂きました。
50代の方々がこんなに動く事ができるのかと正直驚きばかりでした。
選手の皆さんは身体の様々な部位に痛みや障害を持ちながらも、
身体をうまく使いプレーしていたことがとても印象的でした。

今回、帯同の機会を与えてくださったことに、心より感謝申し上げます。
また、これからのご活躍、ご健闘を期待しています。